



毎年、川迫ダムの堆積土砂10千m³を掘削し、水谷土捨場へ搬出

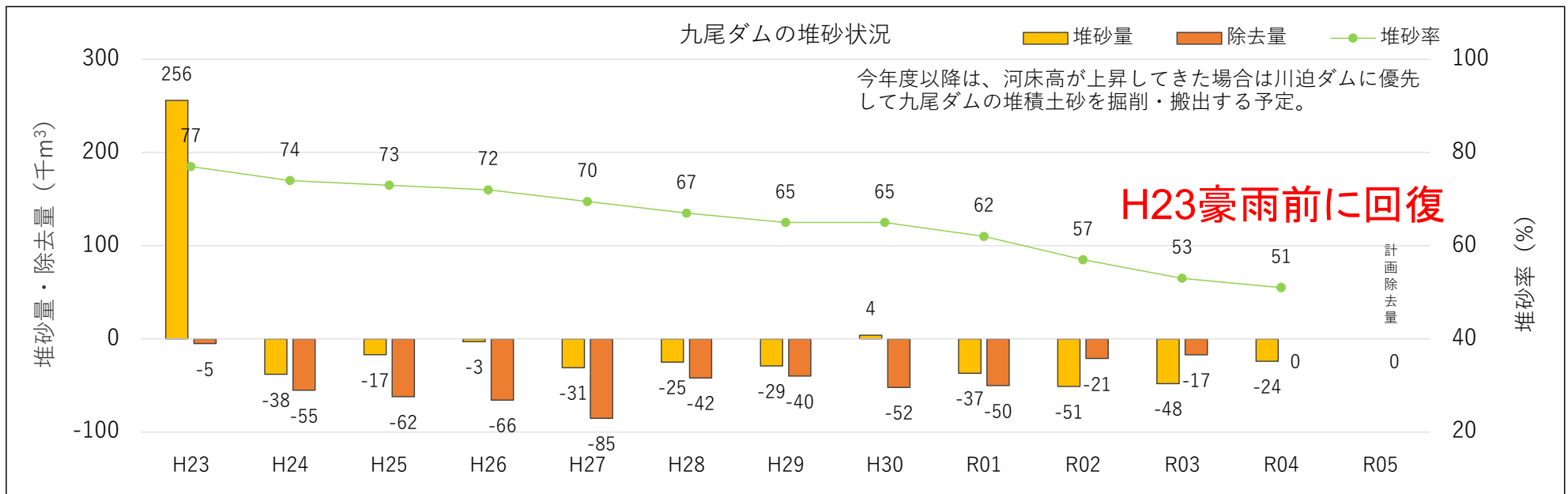
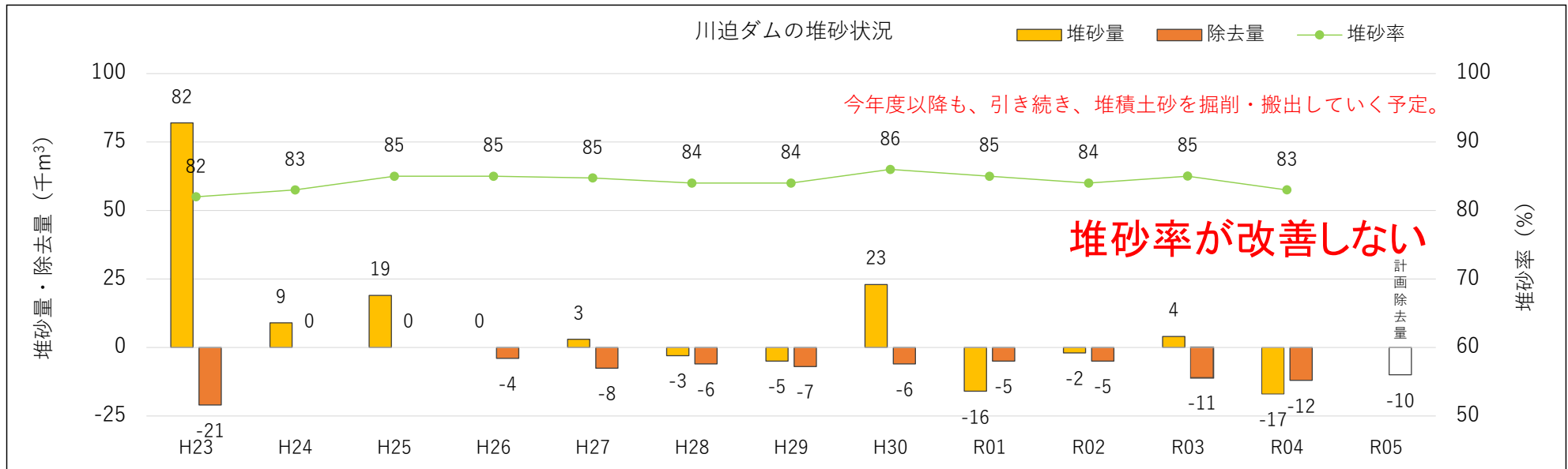
各ダムの堆積土砂量 (千m³)

年度 ダム名	H29	H30	R1	R2	R3	R4	差(R4-R3) (瀬戸R4-R1)
川迫	935	958	942	940	944	927	-17
九尾	737	741	705	653	606	582	-24
旭	992	1,022	1,019	1,033	1,046	1,042	-4
瀬戸 ^{※1}	-	-	407	-	-	423	16

※1 瀬戸ダムはH26年度から測定頻度を1回/3年に変更 (次回測定はR7年度)

川迫ダム・九尾ダムの堆積土砂状況

R5年03月31日時点



- 川迫ダムの土砂移動状況を確認するため、環境調査を行う。
- 河川土砂の性状調査、河川形状測量（航空測量）を行う。



**河川形状調査範囲
(航空測量)**

調査項目	調査目的
粒度分布	河床構成材料の把握
外観	底質に関する基礎情報の把握
臭気	
pH	
強熱減量	底質の有機物含有量の把握
COD	
T-N	
T-P	
硫化物	底質の還元状態（酸素不足の状態）の把握
ORP	

調査項目	調査地点									
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	
土砂性状調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
河川形状調査	川迫ダム下流 ~ 猿谷ダム湛水区域末端									